

【表紙】

| | |
|------------|----------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成23年11月11日 |
| 【四半期会計期間】 | 第10期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日） |
| 【会社名】 | 株式会社あらた |
| 【英訳名】 | ARATA CORPORATION |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役 社長執行役員 畑中 伸介 |
| 【本店の所在の場所】 | 千葉県船橋市海神町南一丁目1389番地 |
| 【電話番号】 | 047-495-1233（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 代表取締役 副社長執行役員管理本部長 鈴木 洋一 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 千葉県船橋市海神町南一丁目1389番地 |
| 【電話番号】 | 047-495-1233（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 代表取締役 副社長執行役員管理本部長 鈴木 洋一 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | | 第9期 第2四半期連結 累計期間 | 第10期 第2四半期連結 累計期間 | 第9期 |
|----------------------------------|-----|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | | 自平成22年 4月1日 至平成22年 9月30日 | 自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日 | 自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日 |
| 売上高 | 百万円 | 307,426 | 316,537 | 601,949 |
| 経常利益 | 百万円 | 2,008 | 2,025 | 4,257 |
| 四半期(当期)純利益 | 百万円 | 412 | 898 | 1,015 |
| 四半期包括利益又は包括利益 | 百万円 | 155 | 1,153 | 838 |
| 純資産額 | 百万円 | 44,530 | 46,277 | 45,665 |
| 総資産額 | 百万円 | 194,293 | 195,201 | 191,541 |
| 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 | 円 | 5.49 | 11.65 | 13.52 |
| 潜在株式調整後1株当 たり四半期(当期)純利益 金額 | 円 | - | - | - |
| 自己資本比率 | % | 22.9 | 23.7 | 23.8 |
| 営業活動によるキャッ シュ・フロー | 百万円 | 1,867 | 3,596 | 1,919 |
| 投資活動によるキャッ シュ・フロー | 百万円 | 1,246 | 3,745 | 3,227 |
| 財務活動によるキャッ シュ・フロー | 百万円 | 7,638 | 1,508 | 2,697 |
| 現金及び現金同等物の四 半期末(期末)残高 | 百万円 | 11,818 | 10,044 | 8,684 |

| 回次 | | 第9期 第2四半期連結 会計期間 | 第10期 第2四半期連結 会計期間 |
|-------------------|---|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | | 自平成22年 7月1日 至平成22年 9月30日 | 自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日 |
| 1株当たり四半期純利益 金額 | 円 | 8.33 | 7.50 |

- (注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第9期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社および当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または、締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

当社グループにおける財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析は以下のとおりであります。

なお、文中の将来に関する事項については、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による被害とその後の福島第一原子力発電所の事故による電力供給不足により、企業の生産活動の停滞や消費の自粛など国内景気に大きな影響を受けましたが、企業の生産活動や個人消費は回復の兆しを見せる一方で、欧州の金融不安を背景に長期化する円高、株価の低迷、デフレなどの影響から、依然として厳しい状況が続いております。

このような厳しい環境下において、当社グループは積極的な営業活動と利益体質強化に努めた結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は316,537百万円、営業損失312百万円、経常利益は2,025百万円、四半期純利益は898百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における営業成績は、売上高は前年同期比で3.0%増加いたしました。売上総利益率が前年同期比で0.2%低下いたしました。これは主に競争激化による販売価格の減少によるものであります。

販売費及び一般管理費においては、売上高の増加にともない若干増加いたしました。売上対比で前年同期比0.1%の減少となりました。営業外収益につきましては、仕入割引が前年同期比で163百万円増加し、営業外費用では前年同期比で支払利息が23百万円減少いたしました。また、特別損失においては遊休資産を売却したことによる売却損101百万円を計上いたしました。

また、資産の分析は次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は195,201百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,659百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は134,445百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,534百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金が1,703百万円、受取手形及び売掛金が186百万円増加し、商品及び製品が720百万円減少したことによるものであります。

固定資産は60,756百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,125百万円の増加となりました。これは主に有形固定資産が1,936百万円増加したことによるものであります。

負債の部では、流動負債は109,437百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,792百万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金が667百万円、短期借入金が2,536百万円減少したことによるものであります。

固定負債は39,486百万円となり、前連結会計年度末と比較して4,840百万円の増加となりました。これは主に長期借入金が4,832百万円増加したことによるものであります。

純資産の部は46,277百万円となり、前連結会計年度末と比較して612百万円増加となり、自己資本比率は23.7%となりました。

セグメントの業績につきましては、当社グループは、日用雑貨・化粧品等の卸売業を主たる事業とする単一セグメントであるため省略しておりますので、カテゴリー別および地区別の売上実績につきまして以下に記載いたします。

カテゴリー別売上実績

当第2四半期連結累計期間におけるカテゴリー別売上実績は、次のとおりであります。（単位：百万円）

| カテゴリー | 主要商品 | 当第2四半期連結累計期間 | |
|-----------------|--|---------------------------|-------|
| | | 自平成23年4月1日 至平成23年9月30日 | 前年同期比 |
| Health & Beauty | 化粧品・装粧品・石鹸・入浴剤・ オーラルケア | 93,893 | 106.8 |
| トイレタリー | 衣料用洗剤・台所用洗剤・食器洗 剤・住居用洗剤・芳香剤・防虫剤 ・殺虫剤・乾電池・記録メディア ・照明用品・電気応用品・OA用 品・文具・食品・カー用品 | 90,244 | 105.8 |
| 紙製品 | 家庭紙・紙おむつ・ベビー用品・ 衛生用品・生理用品 | 63,292 | 96.3 |
| 家庭用品 | 台所用雑貨・住居用雑貨・生活用 雑貨・レジャー用品・園芸用品 | 20,219 | 97.8 |
| ペット用品・その他 | ペット用品・その他 | 48,887 | 102.3 |
| 合計 | | 316,537 | 103.0 |

地区別売上実績

当第2四半期連結累計期間における地区別売上実績は、次のとおりであります。

（単位：百万円）

| 地区 | 当第2四半期連結累計期間 | |
|-------|---------------------------|-------|
| | 自平成23年4月1日 至平成23年9月30日 | 前年同期比 |
| 北海道地区 | 27,474 | 102.7 |
| 東北地区 | 30,649 | 105.3 |
| 関東地区 | 104,084 | 104.6 |
| 中部地区 | 50,478 | 96.2 |
| 関西地区 | 47,331 | 105.7 |
| 中四国地区 | 23,625 | 98.4 |
| 九州地区 | 32,892 | 106.6 |
| 合計 | 316,537 | 103.0 |

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,360百万円増加し、10,044百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は3,596百万円（前年同期は1,867百万円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が1,875百万円、減価償却費1,511百万円、たな卸資産の減少額720百万円等の収入に対し、売上債権の増加額186百万円、法人税等の支払額964百万円、仕入債務の減少額474百万円の支出があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、支出した資金は3,745百万円（前年同期は1,246百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入13百万円等の収入に対して、有形・無形固定資産の取得による支出3,374百万円、投資有価証券の取得による支出85百万円等の支出があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、獲得した資金は1,508百万円（前年同期は7,638百万円の獲得）となりました。これは主に、長期借入による収入11,000百万円等の収入に対して、短期借入金の純減額3,980百万円、長期借入金の返済による支出4,723百万円、配当金の支払による支出538百万円等の支出があったことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、前連結会計年度末に計画中であった、北海道新物流センターにつきましては平成23年8月に完了いたしました。

また、当第2四半期連結累計期間において新たに確定した重要な設備、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

(6) 経営成績に重要な影響を与える要因および経営戦略の現状と見通し

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの経営成績に重要な影響を与える要因に重要な変更はありません。

(7) 経営者の問題意識と今後の方針

当第2四半期連結累計期間において、経営者の問題意識と今後の方針について、重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 150,000,000 |
| 計 | 150,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年9月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成23年11月11日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|--|------------------------------|------------------------------------|---|
| 普通株式 | 79,301,124 | 79,301,124 | 東京証券取引所 (市場第二部) | 権利内容に何 ら限定のない 当社における 標準となる株 式であり、単元 株式数は1,000 株であります。 |
| 計 | 79,301,124 | 79,301,124 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減 額 (百万円) | 資本金残高 (百万円) | 資本準備金増 減額 (百万円) | 資本準備金残 高(百万円) |
|--------------------------|-----------------------|----------------------|---------------------|----------------|-----------------------|------------------|
| 平成23年7月1日～ 平成23年9月30日 | - | 79,301,124 | - | 5,000 | - | 28,280 |

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (千株) | 発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%) |
|---------------|-------------------|---------------|--------------------------------|
| あらた社員持株会 | 千葉県船橋市海神町南1-1389 | 7,215 | 9.09 |
| 音羽殖産株式会社 | 愛知県名古屋市中区大須1-7-26 | 5,409 | 6.82 |
| 畑中 伸介 | 大阪府大阪市東住吉区 | 3,946 | 4.97 |
| ライオン株式会社 | 東京都墨田区本所1-3-7 | 3,565 | 4.49 |
| 田中 作次 | 埼玉県八潮市 | 1,971 | 2.48 |
| 畑中 成乃助 | 大阪府豊中市 | 1,943 | 2.45 |
| 合名会社木曾清商店 | 愛知県名古屋市中区徳川2-6-18 | 1,721 | 2.17 |
| 田中 伸子 | 奈良県大和高田市 | 1,404 | 1.77 |
| 有限会社アイビス | 埼玉県八潮市八潮5-3-5 | 1,383 | 1.74 |
| ペットライブラリー株式会社 | 愛知県小牧市川西1-81 | 1,300 | 1.63 |
| 計 | - | 29,860 | 37.66 |

(注) 上記の他、自己株式が2,199千株あります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 2,199,000 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 76,828,000 | 76,828 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 274,124 | - | - |
| 発行済株式総数 | 79,301,124 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 76,828 | - |

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」および「単元未満株式」の欄には、証券保管振替機構名義の株式がそれぞれ3,000株および500株含まれております。

また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数3個が含まれております。

2. 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式が446株含まれております。

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%) |
|------------|------------------|--------------|--------------|-------------|--------------------------------|
| 株式会社あらた | 千葉県船橋市海神町南1-1389 | 2,199,000 | - | 2,199,000 | 2.77 |
| 計 | - | 2,199,000 | - | 2,199,000 | 2.77 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 9,640 | 11,343 |
| 受取手形及び売掛金 | 2 70,942 | 2 71,128 |
| 商品及び製品 | 30,203 | 29,482 |
| 繰延税金資産 | 1,145 | 993 |
| その他 | 21,216 | 21,651 |
| 貸倒引当金 | 235 | 155 |
| 流動資産合計 | 132,911 | 134,445 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 16,949 | 19,625 |
| 土地 | 20,076 | 19,996 |
| その他(純額) | 7,008 | 6,349 |
| 有形固定資産合計 | 44,034 | 45,971 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 2,294 | 2,083 |
| その他 | 2,217 | 2,297 |
| 無形固定資産合計 | 4,511 | 4,380 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 4,513 | 4,971 |
| 繰延税金資産 | 2,480 | 2,377 |
| その他 | 3,346 | 3,272 |
| 貸倒引当金 | 255 | 216 |
| 投資その他の資産合計 | 10,083 | 10,403 |
| 固定資産合計 | 58,630 | 60,756 |
| 資産合計 | 191,541 | 195,201 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 56,843 | 56,176 |
| 短期借入金 | 40,847 | 38,311 |
| 未払法人税等 | 1,059 | 926 |
| 賞与引当金 | 1,421 | 1,717 |
| 役員賞与引当金 | 35 | 17 |
| その他 | 11,022 | 12,288 |
| 流動負債合計 | 111,230 | 109,437 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 21,537 | 26,370 |
| 繰延税金負債 | 1,063 | 1,063 |
| 退職給付引当金 | 7,366 | 7,339 |
| 役員退職慰労引当金 | 455 | 491 |
| その他 | 4,222 | 4,221 |
| 固定負債合計 | 34,646 | 39,486 |
| 負債合計 | 145,876 | 148,924 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,000 | 5,000 |
| 資本剰余金 | 23,083 | 23,083 |
| 利益剰余金 | 18,371 | 18,730 |
| 自己株式 | 706 | 707 |
| 株主資本合計 | 45,747 | 46,106 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 101 | 152 |
| その他の包括利益累計額合計 | 101 | 152 |
| 少数株主持分 | 19 | 19 |
| 純資産合計 | 45,665 | 46,277 |
| 負債純資産合計 | 191,541 | 195,201 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 307,426 | 316,537 |
| 売上原価 | 268,537 | 277,281 |
| 売上総利益 | 38,888 | 39,256 |
| 販売費及び一般管理費 | 38,860 | 39,568 |
| 営業利益又は営業損失() | 28 | 312 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4 | 4 |
| 受取配当金 | 52 | 55 |
| 仕入割引 | 2,234 | 2,398 |
| その他 | 328 | 478 |
| 営業外収益合計 | 2,620 | 2,937 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 442 | 419 |
| その他 | 197 | 180 |
| 営業外費用合計 | 639 | 600 |
| 経常利益 | 2,008 | 2,025 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 0 |
| 投資有価証券売却益 | 0 | 2 |
| 貸倒引当金戻入額 | 18 | - |
| 保険解約返戻金 | 126 | - |
| その他 | - | 0 |
| 特別利益合計 | 144 | 3 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 29 | 101 |
| 投資有価証券売却損 | 4 | 2 |
| 投資有価証券評価損 | 60 | 6 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 261 | - |
| その他 | 70 | 42 |
| 特別損失合計 | 427 | 152 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,725 | 1,875 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,097 | 836 |
| 法人税等調整額 | 215 | 140 |
| 法人税等合計 | 1,313 | 976 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 412 | 898 |
| 少数株主利益 | - | 0 |
| 四半期純利益 | 412 | 898 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 412 | 898 |
| その他の包括利益 | | |
| 其他有価証券評価差額金 | 256 | 254 |
| その他の包括利益合計 | 256 | 254 |
| 四半期包括利益 | 155 | 1,153 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 155 | 1,152 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | - | 0 |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,725 | 1,875 |
| 減価償却費 | 1,483 | 1,511 |
| のれん償却額 | 361 | 211 |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 381 | 295 |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 21 | 118 |
| 退職給付引当金の増減額(は減少) | 21 | 27 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(は減少) | 487 | 36 |
| 災害損失引当金の増減額(は減少) | - | 354 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 261 | - |
| 受取利息及び受取配当金 | 57 | 60 |
| 支払利息 | 442 | 419 |
| 固定資産売却損益(は益) | 29 | 101 |
| 投資有価証券売却損益(は益) | 4 | 0 |
| 投資有価証券評価損益(は益) | 60 | 6 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 4,787 | 186 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 1,234 | 720 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 2,261 | 474 |
| その他 | 708 | 934 |
| 小計 | 262 | 4,888 |
| 利息及び配当金の受取額 | 60 | 62 |
| 利息の支払額 | 444 | 390 |
| 法人税等の支払額 | 1,220 | 964 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,867 | 3,596 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | 506 | 591 |
| 定期預金の払戻による収入 | 370 | 349 |
| 有形固定資産の取得による支出 | 842 | 2,979 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 60 | 13 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 350 | 395 |
| 投資有価証券の取得による支出 | 84 | 85 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 19 | 4 |
| その他 | 88 | 59 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 1,246 | 3,745 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(は減少) | 1,495 | 3,980 |
| 長期借入れによる収入 | 11,500 | 11,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | 4,786 | 4,723 |
| 社債の償還による支出 | 10 | - |
| 配当金の支払額 | 376 | 538 |
| 少数株主への配当金の支払額 | - | 0 |
| その他 | 183 | 248 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 7,638 | 1,508 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 4,524 | 1,360 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 7,294 | 8,684 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 11,818 | 10,044 |

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間
(自平成23年4月1日
至平成23年9月30日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

| 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|--|---|
| 1. 受取手形割引高 598百万円 | 1. 受取手形割引高 552百万円 |
| 2. 当社は、売上債権流動化を行っております。当連結会計年度末日の金額は以下のとおりであります。 | 2. 当社は、売上債権流動化を行っております。当第2四半期連結会計期間末日の金額は以下のとおりであります。 |
| 売掛金譲渡金額 17,544百万円 | 売掛金譲渡金額 23,507百万円 |
| 債権譲渡に係る未収入金 2,814百万円 | 債権譲渡に係る未収入金 2,997百万円 |

(四半期連結損益計算書関係)

| 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|---|---|
| 販売費及び一般管理費 主要な費目及び金額は、次のとおりであります。 | 販売費及び一般管理費 主要な費目及び金額は、次のとおりであります。 |
| 荷造包装運搬費 15,687百万円 | 荷造包装運搬費 15,778百万円 |
| 給与手当 9,445百万円 | 給与手当 9,869百万円 |
| 賞与引当金繰入額 1,794百万円 | 賞与引当金繰入額 1,709百万円 |
| 役員賞与引当金繰入額 17百万円 | 役員賞与引当金繰入額 17百万円 |
| 退職給付費用 466百万円 | 退職給付費用 579百万円 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 50百万円 | 役員退職慰労引当金繰入額 50百万円 |
| 貸倒引当金繰入額 6百万円 | 貸倒引当金繰入額 58百万円 |
| のれん償却額 361百万円 | のれん償却額 211百万円 |
| 賃借料 2,590百万円 | 賃借料 2,427百万円 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

| 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|--|--|
| 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年9月30日現在) | 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年9月30日現在) |
| 現金及び預金勘定 12,850百万円 | 現金及び預金勘定 11,343百万円 |
| 預入期間が3ヵ月を超える定期預金 1,031百万円 | 預入期間が3ヵ月を超える定期預金 1,299百万円 |
| 現金及び現金同等物 11,818百万円 | 現金及び現金同等物 10,044百万円 |

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成22年6月28日 定時株主総会 | 普通株式 | 375 | 5 | 平成22年3月31日 | 平成22年6月29日 | 利益剰余金 |

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成23年6月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 539 | 7 | 平成23年3月31日 | 平成23年6月28日 | 利益剰余金 |

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

当社グループは、日用雑貨・化粧品等の卸売業を主たる事業とする単一セグメントあるため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

金融商品関係の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がないため記載しておりません。

(有価証券関係)

有価証券関係の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がないため記載しておりません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引関係の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がないため記載しておりません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|----------------------|---|---|
| (1) 1株当たり四半期純利益金額 | 5円49銭 | 11円65銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(百万円) | 412 | 898 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(百万円) | 412 | 898 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 75,043 | 77,102 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月7日

株式会社あらた
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 城戸 和弘 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岩下 稲子 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 戸津 禎介 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社あらたの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社あらた及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。